

平成29年度 台東区立台東育英小学校学校経営案

試案 平成29年4月19日

台東区立台東育英小学校長 木村 和夫

1 学校経営の基本理念

学校とは何を行うところでしょうか？

学校とは、意図的計画的に構成された場で学習を行うところです。

では、なぜ学習するのでしょうか？

それは、人が人らしく生きるためです。

人らしく生きるとは、どんなことですか？

人の人たるゆえんは、その豊かな精神活動にあると考えます。豊かな精神活動は豊かな人生を支えると考えます。

子供たちに、豊かな学びの場を提供し、生きる力を育むのが学校です。それをするのが、教育の力です。

台東育英小学校では、地域の伝統で培われた様々な財産を継承し、その活用を図ります。そして全ての子供が、落ち着いて学習に取り組める環境の中で、質の高い教育(授業)を受けられるように努力します。

2 目指す児童像

教育目標

- **自主的・協力的な態度と粘り強い実践力をもった児童に育てる。**
- **確実な知識を身に付け、科学的・創造的な能力をもった児童に育てる。**
- **心身ともに健康で、豊かな情操をもった児童に育てる。**
思いやりのある やさしい子 かしこい子 たくましい子

① あいさつ・返事がきちんとできて、思いやりのある子

- ・ あいさつ運動
- ・ 生活目標の活用
- ・ 相手の気持ちが想像できる子の育成
- ・ 人権教育の取組
- ・ 縦割り班の活用
- ・ 台東育英幼稚園との連携

② 何ごとにも、興味・関心をもち意欲的に取り組む子

- ・ 校内研究の活性化
- ・ ICT機器の積極的な活用(タブレットPC)
- ・ OJTの推進
- ・ 言語活動の充実
- ・ 台教研等への積極的な参加
- ・ 金管バンド、育英太鼓の推進

③ 健康で、運動が好きな子

- ・ 体育の授業の充実
- ・ 休み時間の外遊び励行
- ・ 体力テストの結果活用
- ・ 食育・保健指導の充実
- ・ 体力作りの時間の充実

④ 地域を愛し、誇りに思える子

- ・ 全学年で地域に関連する学習の充実
- ・ 地域の人材活用
- ・ 地域行事への積極的な参加
- ・ 幼保中との連携(特に育英幼稚園)

3 目指す教職員像

「当たり前のことを、当たり前。」

- ・ 社会人としての教養と常識を備える。

① 目指す児童像を共有しその実現に向けて協働する教職員集団（「チーム台東育英」）

- ・ 学校経営方針を共有し、積極的に学校経営に参画する。
- ・ 目標に向かって、全員が組織的に活動する。
- ・ 互いを認め合い、切磋琢磨する。
- ・ 成功も失敗も共有できる。
- ・ 温かく支え合う人間関係。

② 向上する教職員集団

- ・ 授業観をもち、その実現に向かって努力する。
- ・ 他の教職員の良さに気づく。
- ・ 意欲的に研究研修に参加する。
- ・ 率先垂範する。
- ・ 結果の検証を行う。

4 目指す学校像

「地域の教育力の中核」

① 情報を発信し提案する学校

- ・ 学校経営方針、児童教職員の様子を積極的に発信する。
- ・ 地域に開かれた学校をつくる。
- ・ 教育活動に地域・家庭の教育力を活かす。

② みんなが誇りに思い、愛される学校

- ・ 地域行事へ積極的な参加をする。
- ・ 地域や地域行事の中で、児童教職員のよりよい姿をみせる。
- ・ がんばったことが認められる。
- ・ 自分たちの成長が実感できる。